



上尾ロータリークラブ



2013-14年度R.I.テーマ
ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を



関口 和夫会長

第2506回 例会 会長あいさつ

2013.9.5

週報 No.1970
発行 2013年9月12日
会長 関口 和夫
幹事 齋藤 哲雄
副会長 齋藤 博重
副幹事 久保田 勲
編集責任者
クラブ広報委員長 野瀬 将正

ビジターゲスト
国際ロータリー第2770地区
第5Gガバナー補佐
星野一雄様

ゲスト
元テニスプレーヤー
名黒明徳様

9月19日 卓話 地区
青少年交換委員会
9月26日 北本ロータリークラブ
合同例会
(時間変更)

皆さん、こんにちは。会長挨拶をさせていただきます。今週の会務は、8月31日に川口市市民ホールでの野瀬広報委員長と広報部門セミナーに行ってきました。セミナー報告は後日させていただきます。

今月は、新世代のための月間です。9月8日には、前年度よりの繰越事業であるスポーツ少年団のパレーボール大会が鴨川小学校で行われます。時間のある方は、是非参加して下さい。ロータリーの友には、未来の扉を開くために、ロータリアンは地域社会で、海外で、若い人たちの活動を支援し見守ることが重要であると書かれています。どうか皆さんも、若い人の活動を実際に見て体験して下さい。

ロンド・パートンRI会長は、「青少年交換やRYLAをインターアクトやローターアクトに送り込んだり、ローターアクトをロータリーに送り込みたいのです。『若い人は彼らのプログラムに在るべき』とか、『彼らを自分たちのクラブへ入れるべきではない』といった考えから卒業すべき時です。私たちはこれらの移行をスムーズにする必要がありますが、その過程における最も大きな障害はロータリアンだと思います。」と話されています。

- SHARE** 良好な関係は個人的なつながりと合同プロジェクトから生まれます。クラブの中で連絡係か委員会を任命して、定期的にインターアクトクラブやローターアクトクラブの例会を訪問します。
- LISTEN** 若い人たちに会った時には、彼ら特有の背景を理解するように心がけます。
- SPONSOR** ローターアクトたちのために食事代を安くしたり、食事を提供したりする。
- SYNC UP** ソーシャルネットワークFacebook、Twitterなどを使う。
- GO GREEN** 環境に優しくあろうとする努力に、若い人たちは敬意を払う。
- CASH IN** 若い人たちが使い支払方法を考慮に入れる。
- RECRUIT** 地区内のプログラム参加者で会員になる可能性がある人を追跡する。

TEACH 地区内の若い人たちに助言やロータリーで学んだことをつたえ。

LAUGH 形式的なしきたりがネクタイよりジーンズを好む若者の多くを委縮させてしまうかもしれません。笑顔と親しみある誘いかけが緊張を取り払ってくれます。

詳しくは、ロータリーの友25ページをお読み下さい。新世代との交流について会員の皆さまも考えて頂けたらとおもいます。以上をもちまして、会長挨拶とさせていただきます。本日も、よろしくお祈りします。

幹事報告

齋藤哲雄幹事

皆さんこんにちは。幹事報告させていただきます。
◆9月のロータリーレートは8月同様、100円でございます。
◆今月は新世代のための月間ということで、本日は名黒明徳様の卓話、12日は管理運営部門のセミナー報告、19日は地区青少年交換委員会「青少年交換についてとローテックスの体談談」という内容の例会を行います。そして26日は北本ロータリークラブさんと夜の夜間例会となっております。皆様のご出席をお願いいたします。
◆先ほど会長挨拶にもありましたが9月8日(日)は、50周年記念事業の一環として冠を付けさせていただきました上尾市スポーツ少年団パレーボール争奪秋季大会「上尾ロータリークラブ杯」が行われます。上尾市立鴨川小学校体育館、午前9時から開会いたします。お時間のある方はぜひご出席をお願いいたします。
◆9月16日(月・祝)はロータリーシップ研修会RII PartIのセミナーがござります。私齋藤と久保田副幹事が出席いたします。
◆職業奉仕月間セミナーのご案内がお手元にあると思います。10月5日(土)、大畑誠也氏による『21世紀の“本もの”経営と人づくり』がさいたま文学館ホールで行われます。



◆9月に入り集中豪雨、雷、竜巻、地震といった天災が続いております。ぜひ予防を心掛けていただければと思います。以上、幹事報告とさせていただきます。

ビジターゲスト挨拶

国際ロータリー第2770地区 第5Gガバナー補佐 星野一雄様

皆さんこんにちは。御蔭様で第5グループの会長・幹事さんのご協力をいただき、順調に活動を展開させていただいています。先ほど齋藤幹事からの報告にもありましたが、9月最終に行われる上尾RCと北本RCの合同例会は、今年度の事業として立ち上げたところです。どうぞご協力のほどお願いいたします。



それからガバナー公式訪問が、桶川RCと上尾西RCの2クラブで終了しています。内容は例年同様で、快くガバナーをお迎えいただければと思います。以上でございます。どうぞよろしくお祈りいたします。

卓話

元テニスプレーヤー 名黒明徳様

皆さんこんにちは。テニスをしていない方にはあまり関心がないかもしれませんが、テニスに関してはちょっと自慢できる話ができればと思います。
私は高校生、16歳から父親からの勧めでテニスを始め、おかげさまで全日本ランキング1位までいきました。現在、全米オープンが行われており、今までその相手に負けたことのない選手が負けたりして、世の中が変わっていつているんだということと、負けた理由などもできればお話していきたいと思っております。
私が朝日生命の選手をしていた時に、現在女子テニス連盟副会長になっている飯田藍さんからジュニ



アの指導を手伝ってくれないかと誘われたのが指導者になったきっかけです。飯田さんはウインブルドンで優勝できるような日本人選手を育てないかという夢を語ってくださり、そのためには上手くて元気がある人であるという気持ちがある人ではないかといけなからと、私にお願いされました。そして松岡修三を筆頭に、現在40歳代の選手のジュニア時代、世界をまわって指導しました。私の父はたまたま教育者だったのですが、教えることは難しいなと感じながらも、うまく育てられたなと思っております。

ジュニアを育成するために重要なのは、まず第1には「夢をもたせること」。テニスの素晴らしさを伝え、ウインブルドンに出場できる選手に育ててほしいなあという気持ちを子どもに伝えました。ウインブルドンには行きませんがセンターコートで試合をしたことはなかったので、子どもたちには是非ここで試合をしてほしいなあという願いながら指導をしていたら、松岡修三が見事にその夢を実現してくれました。

第2に「目標をもたせること」。各市町村、学校などでNo.1になって、そしてまた上を目指していく。とにかく対戦した相手に1つ1つ勝って上に行くことですが、ただ勝てばいいのではなくて、人間ですから心技体のバランスをみながら教育していくことが大切です。長所を活かしながら、人間形成して一生を通じてスポーツが楽しめるよう、そして最終的には指導者になっていただければと考えております。

第3に「経験させること。海外も含めて」。以前はオーストラリアの指導者たちが教えるのがうまかったのですが、それがアメリカ・フロリダに変わり、世界の選手が集まってキャンプでレッスンを受けていました。その中で7個のボールを球出しできるハリー・ホフマンというコーチがいて、ちょうど選手がとれるかそれないかギリギリのところ、7個続けて球出しをして、そのレッスンを受けると選手が強くなりました。7個ボールを持てるコーチは末だにいないと思います。その後、近年はスペイン、スウェーデン、フランスではテニス学校を設立し強化されてきています。

第4「技術は常に進歩している」。シューズは昔に比べて軽く、走りやすくなり、また踏み込む角度にあった靴底になっています。シューズメーカーは選手たちの希望を聞いて「勝つための」シューズづくりをしています。ラケットについては軽く反発力があるガットに工夫しています。ガットの網目を大きくしたり、あるいは網目を小さくしたりして弾力を変えています。また縦と横のガットの太さを変えて、ボールがよく引っかかるようにしています。ウェアは吸汗速乾で、汗をかくいてもベタベタしない生地が主流になってきています。

第5「基礎体力は早いうちから 遊びの中で」。「テニス」ではなく「足」ニスといわれるくらい、足腰の強化が必要なスポーツです。移動するスピードと耐久力があれば、どんな速いボールも後ろにさがれば対応できるので、「足」の進歩が必要になってくると思います。基礎体力は水泳が心肺機能を高めてくれます。

第6「ライバルは必要である」。

第7「食べ物は人間を作る」。日本人は米を食べるので腸が長くなる、そうすると胴体が長くなり足が短くなります。欧米人はパンを食べるので腸が短くスタイルがいい。例えばボルグと私の身長はほぼ同じですが、一緒に並ぶとボルグの足が10cmくらい長かったです。腸が長いということは私の方が体重が重いということにもなります。別に強制ではありませんが、テニスの選手はできるだけ米食ではなくパン食の方がいいかなと思います。またこれからの選手は背が高い方がいいかなと思いますので、カルシウムをできるだけ多く摂取すべきだと思います。私の時代は鯨肉をよく食べました。赤身の肉を他人より3~4倍多く食べましたので、背が高くなったのだと思います。ニンニクドリンクも毎朝飲んでいたので、疲れにくかったです。

第8「必要な筋肉を作るトレーニング」。今のトップアスリートには、トレーニング・食事・ウォーミングアップ・ヒittingパートナー・精神的なカウンセラー・データ収集など5~10人のコーチがついています。筋肉のつけ方ですが、しなった体、瞬発力のある恵まれた身体をもつアスリートなら、余計な筋肉はつけない方がいいだろうなあと考えます。
そのようなことで、強い選手を養成していただきたいということ、人生できるだけ長く楽しめるスポーツをしていただければと思っています。
最後にひとつだけ、スポーツをしていると予知能力が

身につけてくると思います。テニスを続けていると能力もだんだん身につく、統計ようになりますが「何かを感じる」能力が研ぎ澄まされていくと思います。長いことテニスをしていると、いろいろな経験を積んでいる次第です。

現在、税理士会のテニスを教えていて、今度、税理士会と医師会の対抗戦をマッチングをすると面白いことが起きるだろうなあ、将来はオーストラリアやアメリカにまで遠征ができるというなあと考えています。本日をご縁に、テニスをする方がいらっしゃればいつでもアドバイスしたいと思いますのでよろしくお祈りいたします。本日はどうもありがとうございました。



名黒明徳様、卓話ありがとうございました。

スマイル 27,000円

星野一雄ガバナー補佐 関口会長 齋藤哲雄幹事 齋藤博重副会長 大塚信郎会員 吉川会員 小林会員 富永会員 齋藤重美会員 村岡会員 萩原会員 大木会員 名取会員 大塚崇行会員 深澤会員 藤村会員 須田会員 樋口会員 野瀬会員 宇多村会員 長沼会員 齋藤修弘会員

★トピックス★

9月8日(日)、上尾市立鴨川小学校体育館にて、上尾市スポーツ少年団パレーボール争奪秋季大会「上尾ロータリークラブ杯」が開催され、上尾クラブ、あげおスターズ、上尾あずまJVCの3チームが熱戦を繰り広げました。

